

浪江町 内水ハザードマップ

洪水

洪水には、内水はん濫と外水はん濫があります。

内水はん濫

雨の量が下水道などの排水能力を超えたり、排水先の河川の水位が上昇することでスムーズに排水できなくなり、側溝やマンホールから水が逆流して、浸水する現象です。
特に、短時間に大量の雨が降るいわゆるゲリラ豪雨の際には注意が必要です。また、河川から離れていても起こる場合があるので油断は禁物です。



外水はん濫

大雨によって河川の水位が上昇し、堤防を越えて水があふれたり、堤防が決壊して浸水する現象です。内水はん濫に比べ起こる頻度は少ないですが、ひとたび外水はん濫が起こると広範囲に甚大な被害が発生します。
上流側の雨で河川が増水しはん濫する場合もあるので、周辺の気象状況にも注意が必要です。



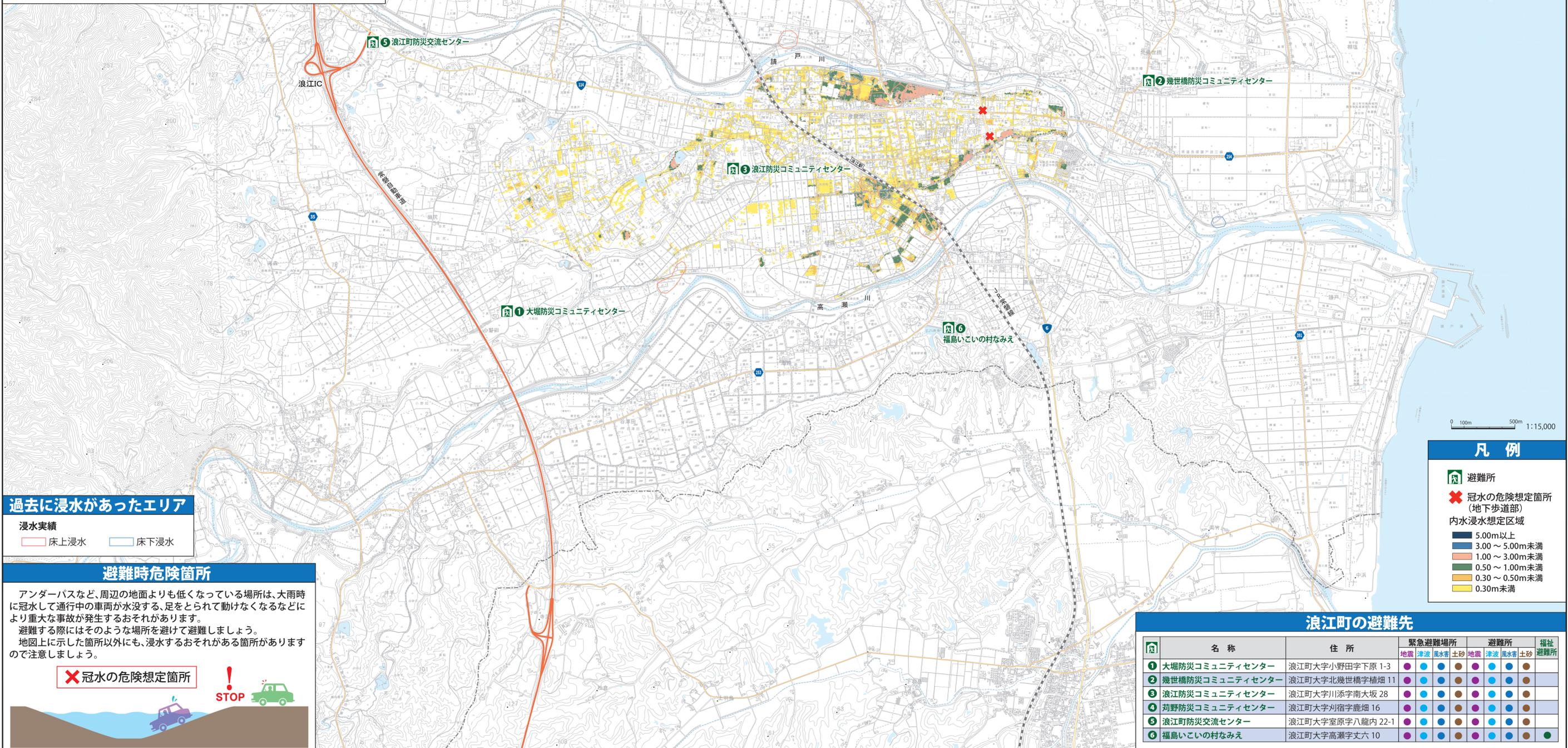
このハザードマップは、内水はん濫について記載しています。

これは令和元年台風(最大値41.0mm/h)を参考に、想定最大降雨量120mm/hで作成したものです。
土砂災害、津波(地震)、外水はん濫について、町のホームページに掲載している浪江町防災ハザードマップ、浪江町洪水ハザードマップをご確認ください。



土砂災害、津波(地震)

洪水ハザードマップ 外水はん濫(改訂)



内水はん濫時に浸水が想定されるエリア

こちらのマップで浸水が予想される場所にお住まいの方は、浸水のおそれがない場所へ避難しましょう。
ただし、強い雨が降り続けると、河川の決壊などによる浸水が起きる可能性があります。
こちらのマップと併せて、洪水ハザードマップを確認しておき、洪水浸水想定区域内にいる場合は雨が強くなる前に安全な場所に避難しましょう。

浸水深	起こり得る事象
浸水深 5.00m以上	2階の屋根以上が浸水します。
浸水深 3.00 ~ 5.00m未満	2階の軒下まで浸水します。
浸水深 1.00 ~ 3.00m未満	1階の天井まで浸水します。
浸水深 0.50 ~ 1.00m未満	大人の膝から腰程度まで浸水します。
浸水深 0.30 ~ 0.50m未満	自動車・子供の移動限界相当の浸水です。
浸水深 0.30m未満	自動車のブレーキが効きにくくなります。

防災情報の入手先

インターネットでは、様々な防災情報が発信されます。パソコンやスマートフォンを使いチェックしましょう。

わが街ガイド 浪江 (防災情報)	防災情報 (気象庁)	防災に関する情報 (福島地方気象台)	河川流域総合システム (福島県)	防災情報提供センター (国土交通省)

過去に浸水があったエリア

浸水実績

床上浸水	床下浸水
------	------

避難時危険箇所

アンダーパスなど、周辺の地面よりも低くなっている場所は、大雨時に冠水して通行中の車両が水没する、足をとられて動けなくなるなどにより重大な事故が発生するおそれがあります。
避難する際にはそのような場所を避けて避難しましょう。
地図上に示した箇所以外にも、浸水するおそれがある箇所がありますので注意しましょう。



凡例

- 避難所
- 冠水の危険想定箇所 (地下歩道部)
- 内水浸水想定区域
 - 5.00m以上
 - 3.00 ~ 5.00m未満
 - 1.00 ~ 3.00m未満
 - 0.50 ~ 1.00m未満
 - 0.30 ~ 0.50m未満
 - 0.30m未満

浪江町の避難先

名称	住所	緊急避難場所	避難所	福祉避難所
① 大堀防災コミュニティセンター	浪江町大字小野田字下原 1-3	●	●	●
② 幾世橋防災コミュニティセンター	浪江町大字北幾世橋字植畑 11	●	●	●
③ 浪江防災コミュニティセンター	浪江町大字川添字南大坂 28	●	●	●
④ 荻野防災コミュニティセンター	浪江町大字刈宿字鹿畑 16	●	●	●
⑤ 浪江町防災交流センター	浪江町大字室原字八龍内 22-1	●	●	●
⑥ 福島いこいの村なみえ	浪江町大字高瀬字丈六 10	●	●	●